

「ほっと」一息・・・

ほっと

令和元年8月20日、16時22分：激しい雨と雷の後、窓の外南の空に二重の虹が掛かった。目を奪われて、「ほっと」一息つく瞬間でした。ふと7年前に入職した頃に思いを馳せてみると、まだ館林市仲町に有る市民センター分室の信金跡の小さな一部屋にほつとが有った頃で、机を並べて職員同士が室内を移動するのもしやっ

とのところでした。その年は、当時障害福祉サービスを利用されている方の全員分のサービス等利用計画を3年で作り上げること

が、今でも忘れずに印象深く心に残っている言葉がいくつもあります。その中の1つで『声なき声に耳を傾けて！』という、センター長からの言葉が有ります。相談支援を行う上で、昨今特に重要視されている『意思決定支援』にも繋がる言葉です。実際に表出言語の無い方もたくさんいらっしゃるしやり、言葉があっても感情表現がうまくできない方もいらつしやいます。長い人生の内

で人は何度か大きな選択を迫られる時が有りますが、その大事な選択を自分以外の誰かによって決められてしまつたら、その結果が望まぬものになってしまつた時に、人は消化しきれない思いを残してずつと持ち続けて行つたりします。その状況は相談者さんにとつても苦し

い事です。或る選択肢の1つを選んだ場合に、それによって起り得ると想定できるメリットとデメリット、又その選択肢を選ばなかつた場合のメリットとデメリットを言葉や文字や絵等、その方にとってより伝わりやすいと思われ